

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 5 月 9 日作成)

小委員会名	骨材品質研究小委員会		主 査 名：清水昭之 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 鉄筋コンクリート工事運営委員会		委員長名：田中享一 主 査 名：梶田佳寛
設 置 期 間	2004 年 4 月 ～ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2005 年度：電気炉酸化スラグ指針作成検討小委員会の指針作成作業の支援 ・ 2006 年度：人工骨材 WG で刊行予定の人工軽量骨材の技術の現状作成支援 ・ 2007 年度：JASS 5 大改定に伴う再生,各種スラグ骨材の規格・基準の取込みの見直し検討 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	清水昭之 (東京理科大学) 阿部道彦 (工学院大学) 井上健 (全国生コンクリート工業組合連合会) 井上和政 (竹中工務店) 嵩 英雄 (工学院大学) 菊池雅史 (明治大学) 立屋敷久志 (三菱マテリアル) 棚野博之 (独・建築研究所) 二村誠二 (大阪工業大学) 萩ノ谷克範 (都市再生機構) 畑中重光 (三重大学) 藤木英一 (日本メサライト工業) 真野孝次 (財・建材試験センター)		
設置 WG (WG 名：目的)	電気炉酸化スラグ骨材品質調査 WG・同指針作成検討 WG 人工軽量骨材検討 WG 再生骨材・各種スラグ骨材検討 WG		
2005 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス： 無し	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 電気炉酸化スラグ細骨材を用いるコンクリートの 設計施工指針 (案)・同解説
講習会	無し
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無し
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 都市ごみ熔融スラグの JIS 化における案に対する意見をまとめ、所轄公的機関に提出した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気炉酸化スラグ骨材については、指針を作成、刊行。 2. 人工軽量骨材については、本 (H18) 年度中に技術の現状をまとめ出版予定。 3. JASS5 大改定検討の中で、骨材及び軽量コンクリートの節の検討を継続。
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算不足のため、委員会の開催が非常に制限される。 2. 関連企業からの委員の参加が少なくなっているため、情報の収集が難しい。 3. 低品位・再生・スラグなど近年の骨材の種類は幅広く、JIS との関係も含めて、これからの骨材のあるべき姿の横断的な検討が課題である。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。